

となるような物質による汚染があれば、パーキンソン病の原因となりうると思います。このような物質は見つかってはいないようですが、子供の頃に井戸水を飲んでいた人はパーキンソン病を発症する割合が、井戸水を飲んでいなかった人よりも高いという事実はあるようです。パーキンソン病の原因を研究する中で、

症状の緩和だけでなく、病気の進行を遅らせる治療を考えようとする試みがなされています。

「インターネットを検索すれば、これまで書いてきたようなことはすぐにしらべられます。古い知識や記憶があやふやなところがあって間違いがあるかもしれませんが、わざわざ書いたのは、外来での話の種にしようと思って書いたことですから許して頂きたいと思います。」

(神経内科医長 中山 茂穂)

レポート

こんなことしてます
三重病院

夏の子ども健康教室

7月22日・25日に三重病院主催の『夏の子ども健康教室』を開催しました。三重県内の小中学校に在籍するお子さんとご家族計22組の参加がありました。



こんなことをしました～

- 血液検査やCT検査などによる健康チェック
- 健康管理に役立つ医師からの話
- 持参していただいたお弁当について、栄養士による指導
- 子どもたちの大好きなおやつについて、その見本展示と栄養士による指導
- 検査の合間に看護師による肥満予防に関するクイズ

など、子どもたちはもちろん、各家族が普段の家庭での食事やおやつをよりバランス良く食べられるよう学習をしていただきました。

子どもたちからは「楽しく学習できて良かった。」「食事について気をつけることが分かってよかった。」など好評で、楽しく参加していただくことができたようです。(3病棟看護師 伊藤 由香)

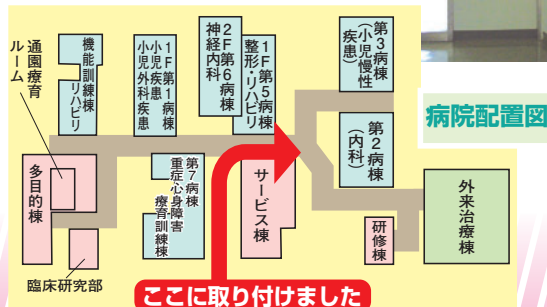
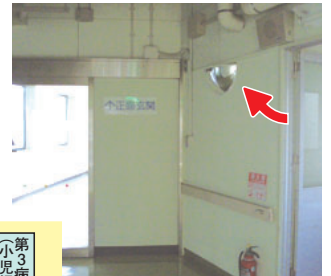
医療安全対策の取り組み

院内の三叉路にミラーを取り付けました

外来棟から病棟への連絡通路の自動扉を出たところです。廊下の曲がり角でぶつかりそうになって「あっ、すみません」といった経験があるかもわかりません。

今回取り付けした場所は、外来と各病棟の連絡口で昼間には人通りが多く、病棟側から歩いてくると廊下の角が死角になって出会い頭に衝突する可能性が大きい場所です。そこで少しでも見通しを良くするためにミラーを取り付けました。病院職員は器械や患者様の搬送時に活用し衝突防止に努めています。

病棟やリハビリから外来に戻られる時は、少し視線を上げてご活用下さい。(医療安全管理室 高木喜代美)



病院配置図



医療福祉相談室だより

医療福祉相談室には
小さな図書コーナーがあります

子どもの病気(難病・発達障害・こころの病気)に関するものから、介護する側・される側、子育てのヒントになる本、話題の本などおいています。ソーシャルワーカーが面接中の時はお部屋に入れませんが、それ以外はいつでもかまいませんので外来・入院問わずふらりのぞいてください。



「よんでたのしい! いってたのしい! どうぶつえんガイド」

あべ 弘士 作/福音館

最近では魅せるどうぶつえんがふえてきました。旭山動物園の勤務を経て絵本作家として活躍中の著者ですが、この本は10年以上も前に描かれたものです。動物たちと暮らしてきた著者だからわかる動物の生態がおもしろおかしくわかります。

象の鼻、バナナの皮もむける、雪国の動物園では雪玉だって作ってしまう。

キリンの長い首、食べ物エレベーターみたいに動いて行く様子知ってるかな?

あわてん坊カンガルーのお母さんが赤ちゃんを落っことしたときどうなるの?

…読んだ後は、動物園に行きたくなること間違いなし!

(ソーシャルワーカー 高村 純子)

